（様式1）

**日本医療研究開発機構**

**介護テクノロジー社会実装のためのエビデンス構築事業【海外展開】　研究開発提案書**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 研究開発課題名（英語表記） | 日本語表記 | ○○に関する研究開発 |
| 英語表記 | Study of ○○ |
| 公募名（事業名） | 介護テクノロジー社会実装のためのエビデンス構築事業【海外展開】 |
| 研究開発期間 | 交付決定日 ～ 令和 8年 3月31日 |
| 全研究機関での研究費総額 | 補助事業費：X0.000千円 |
| 補助金額：X0.000千円※補助率：□1/3(大企業) □2/3(中小企業)　※いずれかに☑。 |
| ヒト全ゲノムシークエンス解析 | □実施する 　　□実施しない※いずれかに☑。実施する場合、ヒト全ゲノムシークエンス解析プロトコール様式を提出。 |
| 補助事業代表者 | 氏　名 | フリガナ | ○○○○　○○○○ |
| 漢　字 | ○○　○○  |
| ローマ字表記 | Yyyy Yyyyyy |
| 性　別 | 男☐　女☐　その他☐　回答したくない☐ |
| 生年月（年齢） | 19XX年XX月（XX歳：令和7年4月1日時点） |
| 所属機関（正式名称） | ○○株式会社 |
| 所属部署（部局） | ○○事業部 |
| 役　職 | ○○ |
| 補助事業代表者の情報 | <https://www>.・・・・・・ |
| 補助事業代表者の研究歴（主な職歴と研究内容） |  |

注 提出する際には、青文字の記載例と緑色吹き出しの説明文を削除してください。

**進出国・地域と重点分野領域**

応募する介護テクノロジーについて、進出国・地域、重点分野領域、日本国内での使用場所についてご記載ください。（□をクリックすると、レ点が入ります。）

|  |  |
| --- | --- |
| 海外展開を希望する国・地域※1～３か国・地域選択 | 北米：[ ] 米国　[ ] カナダ大洋州：[ ] オーストラリアアジア：[ ] 中国　[ ] 韓国　[ ] 台湾　[ ] シンガポール　[ ] ベトナム　[ ] タイ　[ ] インドネシア　[ ] インド欧州：[ ] フィンランド　[ ] デンマーク　[ ] スウェーデン　[ ] オランダ　　　[ ] ドイツ　[ ] 英国　[ ] フランス　[ ] イタリアその他：[ ] その他（国・地域名を記載） |
| 該当する重点分野項目 | [ ] 移乗支援（装着）[ ] 移乗支援（非装着）[ ] 移動支援（屋外）[ ] 移動支援（屋内）[ ] 移動支援（装着）[ ] 排泄支援（排泄予測・検知）[ ] 排泄支援（排泄物処理）[ ] 排泄支援（動作支援）[ ] 入浴支援[ ] 見守り・コミュニケーション（見守り（施設））[ ] 見守り・コミュニケーション（見守り（在宅））[ ] 見守り・コミュニケーション（コミュニケーション）[ ] 介護業務支援[ ] 機能訓練支援[ ] 食事・栄養管理支援[ ] 認知症生活支援・認知症ケア支援 |
| 日本国内での使用場所 | [ ] 施設で使用[ ] 在宅で使用[ ] 施設と在宅の両方で使用 |

**要約（和文）**

■概要など、e-Radと提案書で重複がある項目は、提案時にe-Radに記入されている必要はありません。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○　○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

■A4縦1ページ以内

■背景（今の状況がどのようで、何が求められているのか）、

目的（背景を受け、本課題を実施する目的）、

方法の概略（どのような方法を用いて、どのように研究を実施し問題を解決するか）、

概要を記載してください。

# １．研究の背景・目的

■「１．研究目的」については、具体的かつ明確に、評価者が理解しやすいように、記載してください。全体で３ページ程度に納めてください。また、必要があれば、適切な数の図や表を用いても構いません。

■本提案に関連して、これまでの取り組み結果や、提案の根拠となる要素技術の開発結果等がある場合は、データ等を示して説明し、本提案で開発するポイントを説明してください。

海外展開を希望する国・地域のそれぞれについて、下記(1)～(4)を記載してください。

1. A国・地域（選択した国・地域名を記載してください。）

（１）進出国・地域の介護現場における課題・ニーズ

本提案の重要性・必要性が明らかとなるよう、科学技術上の要請、社会的要請や経済、産業上の要請および、進出国・地域の介護現場における課題・ニーズを記載してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

　　（２）（１）で記載した課題・ニーズに対する解決策

（１）にて記載した進出国・地域の介護現場における課題・ニーズに対して、貴社の開発した製品により解決が期待される理由を「どのような場面で」「どのような使い方が考えられるのか」「それは誰に、どのようなメリットをもたらすのか」がわかるように記載してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

1. B国・地域（選択した国・地域名を記載してください。）

（１）進出国・地域の介護現場における課題・ニーズ

本提案の重要性・必要性が明らかとなるよう、科学技術上の要請、社会的要請や経済、産業上の要請および、進出国・地域の介護現場における課題・ニーズを記載してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

（２）（１）で記載した課題・ニーズに対する解決策

（１）にて記載した進出国・地域の介護現場における課題・ニーズに対して、貴社の開発した製品により解決が期待される理由を「どのような場面で」「どのような使い方が考えられるのか」「それは誰に、どのようなメリットをもたらすのか」がわかるように記載してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

1. **C国・地域**（選択した国・地域名を記載してください。）

（１）進出国・地域の介護現場における課題・ニーズ

本提案の重要性・必要性が明らかとなるよう、科学技術上の要請、社会的要請や経済、産業上の要請および、進出国・地域の介護現場における課題・ニーズを記載してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

（２）（１）で記載した課題・ニーズに対する解決策

（１）にて記載した進出国・地域の介護現場における課題・ニーズに対して、貴社の開発した製品により解決が期待される理由を「どのような場面で」「どのような使い方が考えられるのか」「それは誰に、どのようなメリットをもたらすのか」がわかるように記載してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

（３）目標と目標達成

①～③の（１）（２）を踏まえて、*貴社製品の進出国・地域への展開の実現をゴールとし、研究目標の節目となる到達点・達成事項を記載してください。****目標がいつまでに、どこまで解決されるか客観的に判断できるよう****に記載してください。目標は具体的かつ定量的に記載してください。目標が複数ある場合は箇条書きにしてください。目標を達成するための研究開発項目の詳細は、「２．研究計画・方法」で説明してください。*

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

（４）期待される成果

貴社製品の進出国・地域への展開が実現した際に期待できる事業性や経済効果、進出国・地域の介護現場における貢献について説明してください。その際、従来の介護・支援方法や他種類の機器・福祉用具等を用いた介護オペレーションと比べた場合の競争優位性についてもわかる範囲で説明してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

# ２．研究計画・方法

■研究開発項目ごとに研究目的を達成するための具体的な研究計画及び方法を記載してください。

■研究計画を遂行するための研究体制について、「補助事業代表者」、「補助事業分担者」及び研究協力者等の具体的な役割を明確に記載してください。

■（２）研究計画・方法については、研究時期ごとに（今年度および目標達成まで）、取り組むべき研究開発項目とその説明、担当者の役割を記載してください。また、各計画のマイルストーンを明示してください。

■（１）研究概要、（２）研究計画・方法は、５ページ以内で記載してください。

（１）研究概要

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

（２）研究計画・方法

研究開発項目別の研究計画

研究開発項目１）○○○○○○○○○

主要担当者氏名（所属先）：

１．〇△〇□（○○○○株式会社）

２．□□○○（△□大学）

３．△△○○（◇◇◇◇大学）

ⅰ）目的及び内容

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

ⅱ）方法及び計画

本課題は令和7年度のみ支援しますが、課題終了後、開発事業者が独力で海外での成果創出（規制承認や上市）、海外事業化を行う計画を記載してください。

＜令和７年度＞

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（△△、□○）。

マイルストーン①：○○○○○○○○○○

マイルストーン②：○○○○○○○○○○

＜令和●年度＞

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（△△、□○）。

マイルストーン③：○○○○○○○○○○

マイルストーン④：○○○○○○○○○○

＜令和●年度＞

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

マイルストーン⑤：○○○○○○○○○○

マイルストーン⑥：○○○○○○○○○○

研究開発項目２）○○○○○○○○○

主要担当者氏名（所属先）：

１．〇△〇□（○○○○株式会社）

２．□□○○（△□大学）

３．△△○○（◇◇◇◇大学）

ⅰ）目的及び内容

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

ⅱ）方法及び計画

＜令和７年度＞

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（△△、□○）。

マイルストーン⑦：○○○○○○○○○○

マイルストーン⑧：○○○○○○○○○○

＜令和●年度＞

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（△△、□○）。

マイルストーン⑨：○○○○○○○○○○

マイルストーン⑩：○○○○○○○○○○

＜令和●年度＞

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（△△、□○）。

マイルストーン⑪：○○○○○○○○○○

マイルストーン⑫：○○○○○○○○○○

**2-1　介護テクノロジー製品についての詳細**

* + - 1. 本公募に応募する製品の名称と製品コンセプト

|  |  |
| --- | --- |
| 製品の名称 | 　 |
| 製品コンセプト | 　 |
| 該当する重点分野項目 |  |

* + - 1. 製品の構成図

|  |
| --- |
| 本公募に応募する製品の構成図は、パワーポイント等で作成したイラストや図、写真等を貼り込んでいただいて結構です。 |

* + - 1. 販売状況・実績

日本国内外における販売台数、海外展開の実績等

* + - 1. 目指す姿・実生活での活用法

介護テクノロジーは、被介護者や介護者との関係から設計し、被介護者の一連の生活活動である「している活動」や「している参加」を支援する効果を求めます。どのような一連の生活活動の向上につながるのか整理します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 目標とする「活動」：項目と具体的内容・留意点 | 被介護者 | 介護テクノロジーの使用によって実現することを目指す（目標とする）被介護者、介護者の「活動」（実生活で行う生活行為）の項目を記載する。そして項目毎に、一連の時間的流れを追いながら考え、具体的内容、留意点を記載する。被介護者と介護者は、相互に影響し合っていることもふまえ、介護テクノロジーの使用による被介護者への影響を記載する。 |
| 介護者 | 同上 |
| 使用する環境 | 実施する場所、時間帯、物、周囲の人、施設内の勤務体制等の環境など、介護テクノロジー使用に際して具体的に考慮すべきことを記載する。 |
| 適応と禁忌 | 被介護者 | 適応と禁忌疾患、心身機能、活動・参加、自立度の視点で記載する。 |
| 介護者 | 同上 |
| 起こりうるマイナスと対処法 | 被介護者 | ●疾患●心身機能●活動・参加●自立度・介護テクノロジーが当初意図した効果だけでなく、マイナスの効果（疾患や心身機能、生活不活発病、活動・参加、自立度等）を引き起こすことがある。そのような可能性とそれらを生じないための対処法を記載する。短期的だけでなく、長期的影響も記載する。・介護者にはプラスの効果があっても、被介護者にはマイナスの効果を生じる場合がある。特に介護者の負担軽減を主たる目的としている介護テクノロジーについては十分に考慮する。 |
| 介護者 | 同上 |

倫理面への配慮として、遵守すべき研究に関係する指針等にチェックを入れてください。

□　再生医療等の安全性の確保等に関する法律

□　人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針

□　遺伝子治療臨床研究に関する指針

□　動物実験等の実施に関する基本指針

□　臨床研究法

□　省令GCP

□　その他の指針等（指針等の名称：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**2-2　事業化の基本戦略**

（１）ターゲット市場規模

|  |
| --- |
| *進出を希望する国、地域の市場規模についてニーズ調査や市場調査をもとに分かる範囲で記載してください。*1. A国・地域（選択した国・地域名を記載してください。）
2. B国・地域（選択した国・地域名を記載してください。）
3. C国・地域（選択した国・地域名を記載してください。）
 |

（２）競合分析

海外において競合製品がある場合は、比較表を作成してください。提案製品の優位性、のポイントを記載してください。表に記載が無い項目内容（例えば流通や運用方法など）は追加して記載してください。

1. A国・地域

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 提案の製品 | 競合製品１ | 競合製品２ | 競合製品３ |
| メーカー |  |  |  |  |
| 概要 |  |  |  |  |
| 型式 |  |  |  |  |
| 特徴 |  |  |  |  |
| 想定する1台あたり販売価格 |  |  |  |  |
| 想定する年間販売数 |  |  |  |  |
| 想定するシェアの順位 |  |  |  |  |

1. B国・地域

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 提案の製品 | 競合製品１ | 競合製品２ | 競合製品３ |
| メーカー |  |  |  |  |
| 概要 |  |  |  |  |
| 型式 |  |  |  |  |
| 特徴 |  |  |  |  |
| 想定する1台あたり販売価格 |  |  |  |  |
| 想定する年間販売数 |  |  |  |  |
| 想定するシェアの順位 |  |  |  |  |

1. C国・地域

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 提案の製品 | 競合製品１ | 競合製品２ | 競合製品３ |
| メーカー |  |  |  |  |
| 概要 |  |  |  |  |
| 型式 |  |  |  |  |
| 特徴 |  |  |  |  |
| 想定する1台あたり販売価格 |  |  |  |  |
| 想定する年間販売数 |  |  |  |  |
| 想定するシェアの順位 |  |  |  |  |

（３）競合商品に対する差別化ポイント

|  |
| --- |
| 海外での競合製品に対する優位性や差別化ポイント、あるいは、介護ソリューションとしての強み等を記載してください。海外での競合製品がない場合は、海外における介護テクノロジーを用いない従来の介護・支援のオペレーションに対する優位性や強みを説明してください。 |

（４）ビジネスモデルと収益予測

|  |
| --- |
| 海外展開におけるビジネスモデルを図示、記載して下さい。また、本事業終了後から黒字転換するまでの投資回収計画（売上げ規模（金額・台数）、利益額の年度毎の計画等）、販売見込み、マーケティング戦略を具体的に記載し、売上げ規模の根拠も記載してください。 |

（５）海外での上市後のビジネス体制

|  |
| --- |
| 海外での上市後の販路及びアフター体制についての確保状況または見通しを分かる範囲で記載してください。また、上市後のビジネス（量産化・販売等）を想定し、体制図（見込み）を示してください。すでに決定している提携先については名称を記載してください。 |

|  |
| --- |
| 本公募に公募する介護テクノロジーが進出を希望する国で医療機器に該当するかを分かる範囲で記載してください。また、認証取得等が必要な場合、その認証制度の概要と対応計画を記載してください。 |

（６）進出を希望する国での医療機器該当性と取得が必要な認証制度

（７）海外での上市予定時期

**2-3　知財戦略**

2-3-１　他社知財（特許・意匠等）の調査の状況

1. 自社開発品に関連した他社知財（国内外）

|  |
| --- |
| 他社知財の有無。有る場合は、出願番号（登録の場合は登録番号併記）、出願日、出願人、名称等 |

1. 関連他社知財がある場合の自社の対応、今後の具体的対応策

|  |
| --- |
| 　 |

2-3-2　自社知財の出願・登録状況（本提案に関係するもの）

1. 出願の有・無

|  |
| --- |
| 自社知財が有る場合は、出願番号（登録の場合は登録番号併記）、出願日、出願人、名称等。対応外国知財があれば併記 |

1. ノウハウを保有する場合、その名称

|  |
| --- |
| 　 |

# ３．研究の将来展望

■本研究開発構想が達成された場合に期待される、社会貢献・新産業創出・科学技術イノベーション創出等について、想定し得る範囲にて1,000字以内で記述してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

# ４．補助事業代表者及び補助事業分担者に関する情報

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 氏名 | 所属機関※1 | 現在の専門 | 令和7年度研究経費※２（千円） | エフォート（％） |
| 生年月（年齢:令和7年4月1日時点） | 所属部署（部局）※1 | 学位（最終学歴）学位取得年 |
|  | 役職※1 | 役割分担 |
| 補助事業代表者 | ○○　○○ | ○○○○株式会社 | △△△ | X,XXX | XX |
| S49/11（XX） | △△△事業部 | △△博士（○○大学）H14年 |
|  | △△△ | 研究の統括 |
|  |  | （主たる研究場所）※1△□株式会社 |  | X,XXX | XX |
| △△△事業部 |
| □□□ |
| 補助事業分担者 | □□　○○ | △□大学 | □○□ | X,XXX | XX |
| S50/11（XX） | △△△学部△△△学科 | ○○博士（□△大学）H15年 |
|  | □□□ | データの解析 |
|  |  | （主たる研究場所）※1△□大学 |  | X,XXX | XX |
| △△△学部△△△学科 |
| □□□ |
| 補助事業分担者 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 計　2名 | 研究開発経費合計 | X,XXX |  |

※1　所属機関と主たる研究場所が異なる場合は、主たる研究場所となる研究機関、所属部署（部局）及び役職も記載してください。

※2　研究経費については、直接経費を記載してください。

# ５．実施体制図

■代表研究機関、分担研究機関の組織（所属機関と主たる研究場所が異なる場合については、主たる研究場所についても記載）、体制、連携、協力体制等について体制図を記載してください。各機関の役割がわかるように記載してください。また、研究開発課題の運営・推進及び進捗管理等の体制や方法について記載してください。

■下記の図は例示として画像データで貼り付けてありますので、提案書作成時には削除のうえ、適切なソフトで作られた体制図を下に貼り付けてください。



# ６．研究開発の主なスケジュール

■目標達成に向けて取り組むべき研究開発項目を挙げ、実施期間を記載してください。

※マイルストーン：達成しようとする研究開発の節目となる到達点・達成事項

■項目別のスケジュールや担当者がわかるように記載してください。

■別途Excelで作成した表を貼り付けていただいてもかまいません。なお、PDF化したときに矢印等がずれてしまうことがありますので、PDF化後に必ずご確認ください。

■本課題は令和7年度のみ支援しますが、**課題終了後、開発事業者が独力で海外での成果創出（規制承認や上市）、海外事業化を行う計画を記載してください**。年度数は自身の海外展開計画に合わせ調整してください。

※2頁以内で記載してください。

|  |
| --- |
| **海外展開に向けた主なスケジュール（ロードマップ）** |
| 研究開発項目※マイルストーン | 担当者氏名 | 第1年度(R7年度) | 第2年度(R●年度) | 第3年度(R●年度) |
| 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q |
| （1）・・ | 〇〇〇〇〇〇〇〇 |  | ▲マイルストーン：○○○○○○○○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （2）・・ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （3） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （4） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （5） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （6） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

**本事業終了後の対応（現時点見込み）**

*現時点での令和8年4月以降の見込みにチェックを入れてください。*

*課題終了後は、開発事業者が独力で海外における規制承認や上市といった成果創出、海外での事業化まで行ってください。*

□独力で事業化まで継続する予定

□全て自己資金で賄う予定

□借り入れの予定

□助成金や他の公募等外部資金を調達する予定（助成金名等記載）

□その他（記載）

# ７．経費内訳

　（１）補助事業費（代表機関及び分担機関すべてを含む経費の総額、消費税抜き金額）　　　　　（単位：千円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 大項目 | 中項目 | R7年度経費 |
| １．代表機関：○○株式会社 |
| 直接経費 | ①物品費 | 設備備品費 |  |
| 消耗品費 |  |
| ②旅費 | 旅費 |  |
| ③人件費・謝金 | 人件費 |  |
| 謝金 |  |
| ④その他 | その他 |  |
| 直接経費小計 |  |
| 間接経費（中小企業：直接経費の20%以下、大企業：直接経費の10%以下） |  |
| 代表機関※1　小計 |  |
| ２．分担機関　委託費 |  |
| ３．補助対象経費（１＋２合計） |  |
| ４．補助金額（３×補助率）※２補助率（大企業1/3、中小企業2/3） |  |

※１：代表機関とは、開発製造の中心となる１社、分担機関はその他で、これらは委託し研究開発を行います。研究要素を含まない開発を分担する機関は外注となります（④その他に計上）。

※２：補助率は該当する方を○で囲んでください。

（２）分担機関委託費内訳　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 種別 | 機関名 | R7年度経費 |
| 分担１ | △△△△大学 | X,XXX |
| 分担２ | 社会福祉法人□□□ | X,XXX |
| ･･･ |  |  |
| 合計（上記２．分担機関　委託費） | X,XXX |

（３）主要経費内訳

１．代表機関：○○株式会社

**設備備品費** （単位：千円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 支出年度 | 機械器具名 | 使途 | 数量 | 金額 |
| R７年度 | ○○○○○  |  | 1台 | 20,000 |
| R７年度 |  |  |  |  |
| R７年度 |  |  |  |  |

**外注費** （単位：千円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 支出年度 | 外注内容 | 外注先（予定） | 金額 |
| R７年度 | ○○○○○システムの開発  | ABC社  | 2,500 |
| R７年度 |  |  |  |
| R７年度 |  |  |  |

行は適宜増減してください。

２． 分担機関1：△△△△大学

**設備備品費** （単位：千円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 支出年度 | 機械器具名 | 使途 | 数量 | 金額 |
| R７年度 | ○○○○○  |  | 1台 | 20,000 |
| R７年度 |  |  |  |  |
| R７年度 |  |  |  |  |

**外注費**（単位：千円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 支出年度 | 外注内容 | 外注先（予定） | 金額 |
| R７年度 | ○○○○○システムの開発  | XYZ社  | 1,500 |
| R７年度 |  |  |  |
| R７年度 |  |  |  |

行は適宜増減してください。

分担機関の数に合わせて作成してください。

# ８．研究業績

■「補助事業代表者」及び「補助事業分担者」ごとに、それぞれ学術雑誌等に発表した論文・著書のうち、主なもの（概ね一人につき1～15編程度）を選択し、直近年度から順に記載してください。また、この提案課題に直接関連した論文・著書については、「●」を付してください。

■特許権等知的財産権の取得及び申請状況、並びに研究開発課題の実施を通じた政策提言（寄与した指針又はガイドライン等）を記載してください。

## （1）補助事業代表者　○○　○○

＜論文・著書＞

●M.Marusankaku, J.Aaaa, H.Bbbbb, A.Ccccc, Treatment of Hepatic……, Nature, 2020 , 1,10-20

M.Marusankaku, T.Aaaa, A.Bbbbb, T.Ccccc, Risk factors for Fungal…, Nature, 2019, 2,17-26

＜特許権等知的財産権の取得及び申請状況＞

＜政策提言＞

○○○○○○ガイドライン（○○学会編　XXXX年）

## （2）補助事業分担者　○○　○○

＜論文・著書＞

●M.Kakukaku, T.Dddd, A.Eeee, T.Ffff, Study on Hepatitis…………, Nature, 2020,12,32-40

M.Kakukaku, T. Dddd, A. Eeee, T.Ffff, Study on Malaria………, Nature, 2019,10,45-54

（Researchmapのテキスト出力を貼り付けた例）

Non-negligible collisions of alkali atoms with background gas in buffer-gas-free cells coated with paraffin

Applied Physics B-Lasers and Optics 122(4) 81-1-81-6 2020年3月

Laser frequency locking with 46 GHz offset using an electro-optic modulator for magneto-optical trapping of francium atoms

Applied Optics 55(5) 1164-1169 2020年2月

Atomic spin resonance in a rubidium beam obliquel

# ９．研究費の応募・受入等の状況・エフォート

■本研究開発課題の補助事業代表者の応募時点における、（1）応募中の研究費(国内外を問わず、競争的研究費のほか、民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費等の研究資金を含む。以下同じ。)、（2）採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）、（3）その他の活動について、次の点に留意し記載してください。なお、複数の研究費を記載する場合は、線を引いて区別して記載してください。

■「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を100％とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率（％）を記載してください。

■「応募中の研究費」欄の先頭には、本研究開発課題を記載してください。

## （1）応募中の研究費（令和７年４月１日時点）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究開発課題名（補助事業代表者氏名） | 役割（代表・分担の別) | 令和7年度の研究経費（直接経費）[期間全体の額]（千円） | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由 |
| 【本研究開発課題】申請者本人への配分予定額（直接経費）（R7～R9） | ○○と△△の相関に関する実験的研究（○○○○） | 代表 | 6,000[18,000] | 20 | （総額　21,000千円）\*研究開発課題全体（直接経費）の総額例）（6,000＋1,000（分担者））×3年 |
| 科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究（R6～R7・日本学術振興会） | ○○と△△の□□への依存性に関する調査研究（○○○○）研究開発期間全体で申請者本人が使用する総額（直接経費）（予定額） | 代表 | 3,000[9,000] | 10 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。（総額　9,000千円）\* |
| 令和5年度○○財団研究助成金（R5・○○財団） | 上欄と同様に補助事業代表者の場合、総額を記載●●と□□の研究（○○○○） | 分担 | 1,000[1,000] | 5 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 |

## （2）採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）（令和７年７月１日時点）

（注：本研究開発課題の研究開始年度前に終了する研究費は含みません。）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究開発課題名（補助事業代表者氏名） | 役割（代表・分担の別) | 令和7年度の研究経費（直接経費）[期間全体の額]（千円） | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由 |
| 令和3年度○○財団研究助成金（R3・○○財団 | ●●と□□の研究（○○○○） | 代表 | 1,000[1,000] | 5 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。（総額　5,000千円）\* |
| ○○事業（R3～R5・AMED） | ●●と□□の研究（○○○○） | 分担 | 1,000[5,000] | 10 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 |

　\*　（　）内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

## （3）その他の活動

エフォート：　50　％

（1）（2）以外の「その他の活動」のイメージ（考え方の整理）

教育　　　　　　　　　エフォート：　20　％

診療　　　　　　　　　エフォート：　10　％

社会サービス　　　　　エフォート：　 5　％

その他（学内事務等）　エフォート：　15　％

# １０．これまでに受けた研究費とその成果等

■本欄には、補助事業代表者及び補助事業分担者がこれまでに受けた研究費（所属機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受け入れている研究費も含む。）による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、（１）【AMED事業】と（２）【それ以外の研究費】に分けて、次の点に留意し記載してください。

■AMED事業とそれ以外の研究費は区別して記載してください。

■それぞれの研究費ごとに、資金制度名、期間（年度）、課題名、代表者又は分担者の別、研究経費（直接経費）を記載してください。また、研究成果及び中間・事後評価（当該研究費の代表者のみ。）結果も簡潔に記載してください。

（記載項目）

資金制度名：

期間（年度）：H 年度～H 年度

課題名：

代表者又は分担者の別：

研究経費（直接経費）： 千円

研究成果及び中間・事後評価結果：

## （1）【AMED事業】

・AMED　○○事業（A）、H27～H29、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

・AMED　○○事業（B）、H29～R1、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

## （2）【それ以外の研究費】

・基盤研究（B）、H26～H28、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

# １１.　 本研究開発課題を実施する上で特に考慮すべき事項等

■以下の項目は、医療分野の研究開発において重要な視点であるため、AMED事業の研究開発課題において記載を求めるものです。別途、公募要領に特記事項等として条件が付されない限りは、採否に影響ありません。なお、記載内容は今後のAMED事業運営に資する研究動向の分析等に利用するとともに、研究開発課題が特定されない形で分析結果を公開する場合があります。

の概要を記載してください。

1. 本研究開発のプロセスの一環として、患者や市民の知見を参考にする予定があれば、その概要を記載してください。（※詳しくは公募要領3.4.2「医学研究・臨床試験における患者・市民参画（PPI）の推進」をご参照ください）

（2）国内の子会社から国外の親会社に本研究開発課題の成果の承継を予定している場合は、その概要を記載してください。

## （1）医学研究・臨床試験における患者・市民参画（PPI：Patient and Public Involvement）PPIについて

※記載に係るポイントは、AMED公式ウェブサイトをご参照ください

AMED研究への患者・市民参画：<https://www.amed.go.jp/ppi/guidebook.html>

## （2）国内の子会社から国外の親会社への本研究開発課題の成果の承継予定について

本研究で得られた結果について、社内規定により海外の親会社に移転予定。

## （3）キーワード（疾患名以外、10単語以内）

提案内容を示す、適切かつ重要と思われる単語を記載してください。(例：研究手法、使用技術、医薬品モダリティ、生命現象、対象部位（臓器、組織、細胞等）、対象集団（妊産婦、AYA世代など）、実験動物等、の具体名)

1.△△計測　　2.○○合成阻害剤　　3.　．．．．．．

## （4）対象疾患（10個以内）

研究の主題に近いものから順番に、主要な疾患名を10個以内で記載してください。

なお、未診断疾患が対象の場合は「未診断疾患」、具体的な対象疾患が無い又は未定の場合は「対象なし」と記載してください。

1.△△感染症　　2.○○病　　3.□□症候群　．．．．．．